

2022年11月29日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ  
株式会社 北九州銀行

## 投資信託商品の新規取扱開始について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長 CEO 椋梨 敬介）は、子会社である山口銀行（頭取 曾我 徳将）、もみじ銀行（頭取 小田 宏史）、および北九州銀行（頭取 嘉藤 晃玉）において、投資信託商品を下記のとおり取扱開始いたしますので、お知らせいたします。

記

### 1. 概要

- （1）ポートフォリオ運用における債券カテゴリーの商品として、貯蓄から投資へ繋げていただきやすい低リスク商品を導入します。
- （2）6月に導入済みの「ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）」、「ダイワ・US-REIT・オープン（年1回決算型）為替ヘッジなし」について、昨今の為替水準も鑑み、為替ヘッジありのコースを導入します。
- （3）市場環境を見極めながら、柔軟かつ最新の運用戦略を活用し長期的な資産の成長を享受いただくため、世界の富裕層から支持を得ている高度な運用戦略である、ピクテ・ジャパン(株)の「ウェルス・トラストシリーズ」を導入します。

### 2. 投資信託新商品の概要

#### （1）YMFGセクション対象商品

商品名	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース/Bコース/Cコース/Dコース
運用会社	野村アセットマネジメント株式会社
分類	追加型/内外/債券
ファンドの特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行う。</li><li>・世界各国（新興国を含む）の債券等〔国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券、資産担保証券、ハイ・イールド債券、企業向け貸付債券（バンクローン）等〕および派生商品等を実質的な主要投資対象とする。</li></ul>

商品名	ジパング企業債ファンド
運用会社	日興アセットマネジメント株式会社
分類	追加型/内外/債券
ファンドの特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・主として「ジパング企業」（日本企業や日本企業の海外子会社）などが発行する様々な債券に投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざす。</li><li>・利回り向上などの観点から、円建ての債券に加え、外貨建ての債券にも投資する（※）。</li></ul> ※外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行う。

株式会社山口フィナンシャルグループ  
総合企画部 広報・IR室

〒750-8603 下関市竹崎町4丁目2番36号

<https://www.ymfg.co.jp>

商品名	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Aコース （為替ヘッジあり）／（年1回決算型）為替ヘッジあり
運用会社	大和アセットマネジメント株式会社
分類	追加型／海外／不動産投信（リート）
ファンドの特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国のリート（不動産投資信託）に投資し、配当利回りを重視した運用により信託財産の成長をめざす。</li> <li>・今回新規取扱のコースでは、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行う。</li> </ul>

(2) 通常ラインアップ対象商品（ウェルス・トラストシリーズ）

商品名	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド （毎月分配型）／（1年決算型） （愛称：ノアリザープ／ノアリザープ1年）
運用会社	ピクテ・ジャパン株式会社
分類	追加型／内外／資産複合
ファンドの特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に日本を含む世界の株式および公社債ならびに金（デリバティブ取引を含める）などに分散投資する。</li> <li>・投資にあたっては、委託会社が各資産の収益とそのリスク見通しを分析して投資資産を選択し、その配分比率を決定する。また、組入資産および配分比率については、適宜見直しを行う。</li> </ul>

商品名	ピクテ・サステナビリティ・マルチアセット・ファンド （愛称：モンド）
運用会社	ピクテ・ジャパン株式会社
分類	追加型／内外／資産複合
ファンドの特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質的に日本を含む世界の株式および債券等への投資ならびにデリバティブ取引を行うことにより信託財産の成長を図ることを目的に運用を行う。</li> <li>・株式や債券、オルタナティブ資産等の様々なアセット・クラス（資産）への分散投資の徹底と市場環境に応じた資産配分の機動的な変更により市場の変化に伴う下落リスクを低減しつつ中長期的に安定したリターンの獲得を目的に運用を行う。</li> </ul>

商品名	ピクテ・ダイナミック・アロケーション・ファンド （愛称：アルテ）
運用会社	ピクテ・ジャパン株式会社
分類	追加型／内外／資産複合
ファンドの特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の株式、債券および金やREIT等のオルタナティブ資産等への投資ならびにデリバティブ取引を行うことにより信託財産の成長を図ることを目的に運用を行う。</li> <li>・相対的に価格変動リスクを抑えながら長期的に株式と同程度のリターンを目指す。 ※「長期的に株式と同程度のリターン」とは、短期金利+4%とピクテでは考える。</li> <li>・市場の転換局面でダイナミックに資産配分を変更し、価格変動リスクを抑えながらリターンを追求する。特にリスクが高まる局面では株式を中心にダイナミックに配分を変更し、下落リスクを抑えることを目指す。</li> </ul>

商品名	ピクテ・ゴールデン・リスクプレミアム・ファンド (愛称：ポラリス)
運用会社	ピクテ・ジャパン株式会社
分類	追加型／内外／資産複合
ファンドの特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資を通じて実質的に世界の株式、金、債券、リート等への投資を行うことにより、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行う。</li> <li>・投資信託証券への投資にあたっては、世界の市場環境に応じて魅力的なリスクプレミアムが期待できる資産を選定し、配分比率の決定を行う。基本資産配分の見直しは原則として月次で行う。</li> </ul> <p>※リスクプレミアムとは、リスク資産の期待リターンにおいて価格変動リスクの対価とみなされる部分のことを意味し、無リスクの資産に対して期待するリスク資産のリターンの上乗せ分を指す。</p>

### 3. 購入方法

- ・店頭およびインターネットでお取り扱いいたします。
- ・一括および積立での購入が可能です。

### 4. 導入日

2022年11月30日（水）

### 5. その他

「ウェルス・トラストシリーズ」の一つである「ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド【クアトロ】」については、YMF Gセクションとして既に取り扱を行っています。

以上

#### 【本件に関するお問合せ先】

山口フィナンシャルグループ 営業戦略部  
山門 TEL：(082) 258-8175  
猪口 TEL：(082) 258-8208